

promenade 時代も緩オツイナラー

シーンをつらねてプロムナード



「城塞の物語」の登場人物のイメージを、プロムナードのデザインに反映させることで、時代を超えてのつながりを感じさせる。また、プロムナードのデザインは、城塞の物語の登場人物のイメージを、プロムナードのデザインに反映させることで、時代を超えてのつながりを感じさせる。

城塞によって生まれ、城塞と共に生きてきたまち。

あるまちの過去と未来。

そのふたつを繋ぐ一本のプロムナードを設計しました。



かつて城塞の物語の舞台となったまち。そのまちに、プロムナードという新しい空間を創出し、まちの未来を切り拓いていく。

プロムナードは、まちの未来を切り拓いていく。そのまちに、プロムナードという新しい空間を創出し、まちの未来を切り拓いていく。そのまちに、プロムナードという新しい空間を創出し、まちの未来を切り拓いていく。

一私は卒業設計を通して、ひとつからまち未来へ向かう図像となるマスタープランを考案したいと思いました。

過去から輝けるプロムナードが、このまちを明るい未来へと導くことを願って。



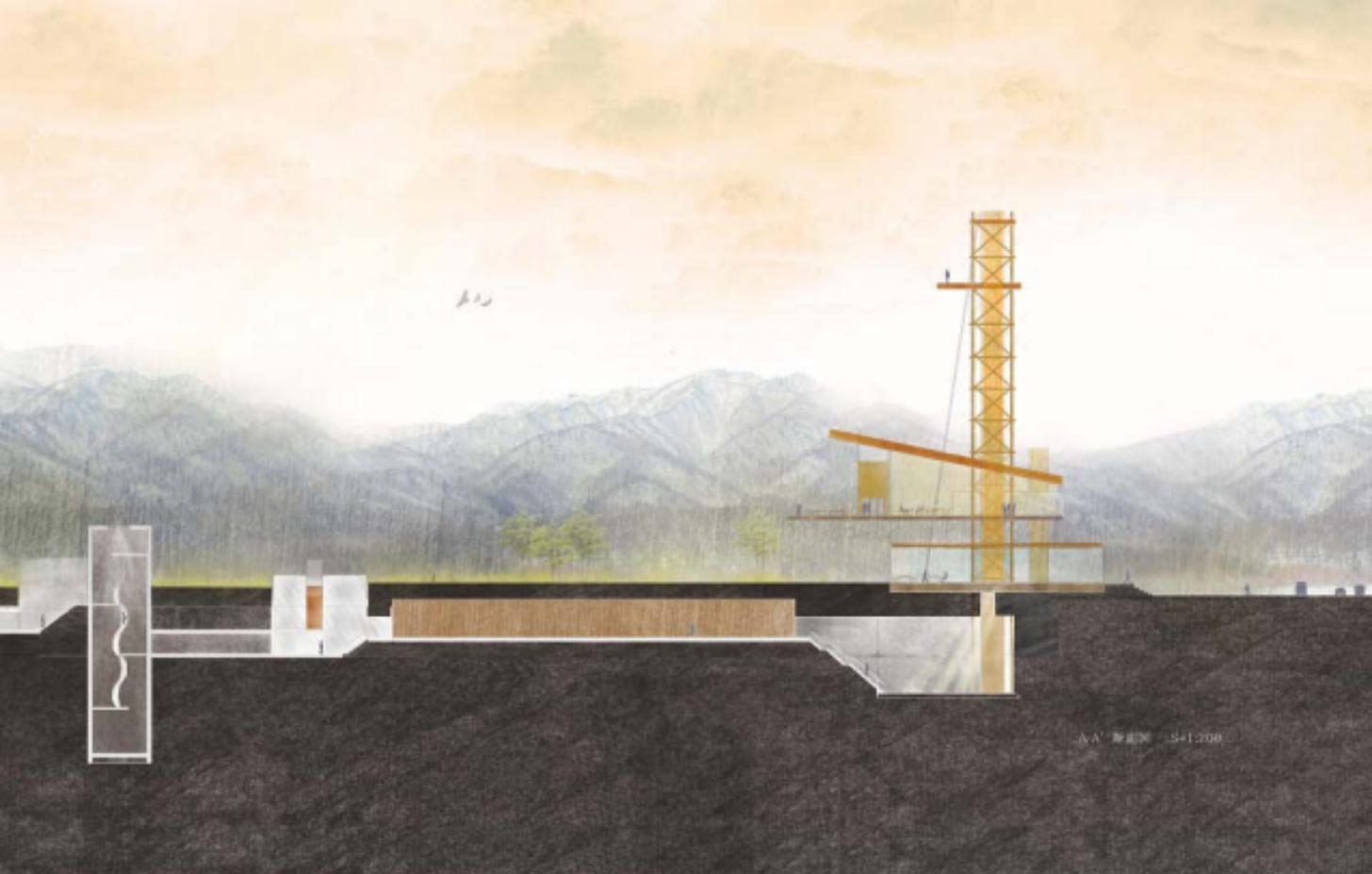
01 古城





04 第2プロハナード





05 カタコン

07 第4オロムナード

● 計画敷地

北海道赤平 かつて炭鉱で栄えた町

中央地方赤平、空知(空知)・自衛(自衛)・オホ(オホ)の3町が合併して誕生した町。しかし、その歴史は1772年(天明2年)に始まる。炭鉱産業の隆盛と衰亡、炭鉱産業の衰退と町民の転居などが繰り返された。

佐々赤平炭鉱立て坑跡

多くの炭坑跡が残り、現在は、炭坑跡を観光資源として活用している。そのうち、炭坑跡の遺構として残っているのは、明治時代の炭坑跡である。明治時代の炭坑跡は、明治時代の炭坑跡である。明治時代の炭坑跡は、明治時代の炭坑跡である。



佐々赤平炭坑跡



佐々赤平炭坑跡



佐々赤平炭坑跡



佐々赤平炭坑跡

● プログラム 生産過程を公開するオープン・ブライキング型ワイナリー

ワインの生産過程を公開



ワイナリー施設
生産過程を公開するワイナリー施設

タイムライン



2010年10月～2011年3月

2011年4月～2012年3月

2012年4月～2013年3月

2013年4月～2015年3月



改修後 視察も楽しめる遊歩道がワイン醸造場の入り口にある。

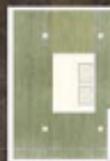


入庫前に改修された遊歩道

遊歩道がワイン醸造場の入り口にある。



遊歩道がワイン醸造場の入り口にある。





改修前 建物中央に立つのぼりによって駅出入口を下へ通る道が立て替わった。



駅舎図 5-11100



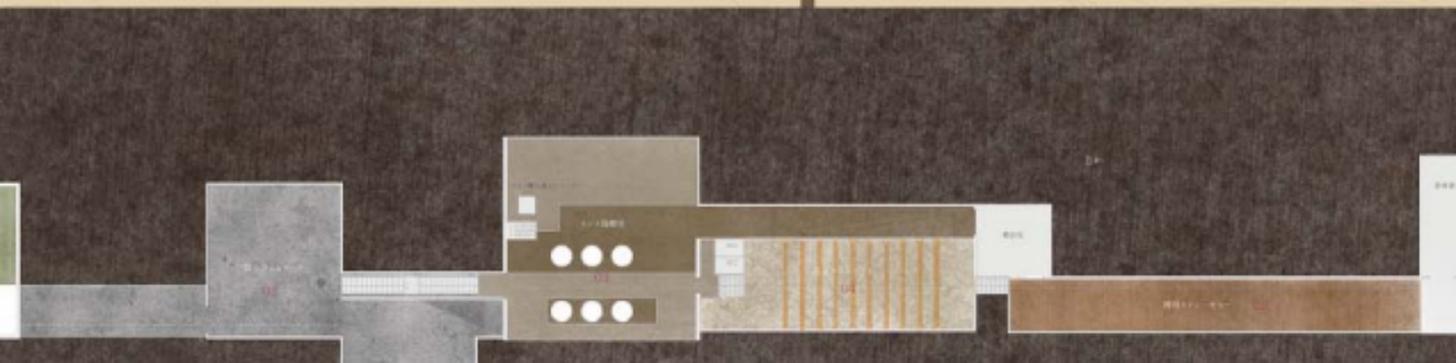
駅舎中央の改修作業の様子。作業員はヘルメットと安全服を着用し、作業を進めている。作業は慎重に行われ、周囲の設備に影響を与えないよう配慮されている。

駅舎の中央部に立つのぼりによって、駅舎の構造が変更された。



「気流維持」

高い圧力を保つため、気流が押し込まれる。気流の方向が変化することで、駅舎の構造が変更された。作業は慎重に行われ、周囲の設備に影響を与えないよう配慮されている。





本酒窖位于意大利托斯卡纳大区佛罗伦萨市，是意大利最大的葡萄酒窖之一，也是意大利最大的葡萄酒窖之一。



本酒窖位于意大利托斯卡纳大区佛罗伦萨市，是意大利最大的葡萄酒窖之一，也是意大利最大的葡萄酒窖之一。



本酒窖位于意大利托斯卡纳大区佛罗伦萨市，是意大利最大的葡萄酒窖之一，也是意大利最大的葡萄酒窖之一。



本酒窖位于意大利托斯卡纳大区佛罗伦萨市，是意大利最大的葡萄酒窖之一，也是意大利最大的葡萄酒窖之一。



本酒窖位于意大利托斯卡纳大区佛罗伦萨市，是意大利最大的葡萄酒窖之一，也是意大利最大的葡萄酒窖之一。



本酒窖位于意大利托斯卡纳大区佛罗伦萨市，是意大利最大的葡萄酒窖之一，也是意大利最大的葡萄酒窖之一。



● 建築の構成



北東部よりとらえた立て坊構造



立て坊の地下にはデッキ、池に広がる緑を伴う

歴史
過去



アイン
未来

この建物は、歴史と未来の対比、そして未来の歴史を、
建築の空間を通じて表現しようとする。過去と未来の対比は、
歴史の連続性によって、空間の連続性によって表現される。

この建物は、歴史と未来の対比、そして未来の歴史を、



アインアース



アインアース



アインアース

アインの生活機能と地下のアインアース上に展開する。各階層の地味と繋がって、地下空間に光が入る。

02 地下のアインアース



この建物は、歴史と未来の対比、そして未来の歴史を、
建築の空間を通じて表現しようとする。過去と未来の対比は、
歴史の連続性によって、空間の連続性によって表現される。



アインアースの入り口



08 キャンプの大門



ガラスと木材の組み合わせが印象的な外観。大きなガラス窓が自然光を取り込み、開放的な空間を演出。緑豊かな自然環境と調和し、訪れる人々の心を癒やす。また、木材の質感が温かみと安心感をもたらす。

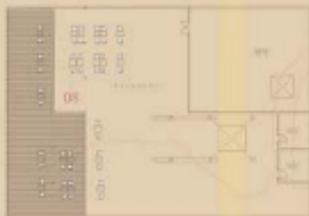


08 キャンプの大門の建築写真 (8-1200)



自然環境と調和した外観を演出し、訪れる人々の心を癒やす。また、木材の質感が温かみと安心感をもたらす。

炭鉱とワイン。このまちにとって大切なふたつの産業が一つになり、強いアイデンティティを生む。この建築での体験は、炭鉱から始まった赤平が新たな未来に向けて歩み始めていることを示していた。



地下1層平面図 8-1200



1層平面図 8-1200



「炭鉱とワイン」のテーマを表現するため、この建築では、炭鉱のシンボルである「赤十字」のマークを採用している。

